

夢 アイデア

まちづくり、地域づくりに関して、福岡・鹿児島間の新幹線全線開通に伴って、鹿児島を訪れる観光客が増えているようではあるが、鹿児島県を中心に、地方自治、地域経済、地方文化に大きなウエイトを占める鹿児島市において、我々市民が、知恵を出し合って、少しでも観光客を引きつける、また話題性のあるまちづくり、例えば、県外から来た若い女性客の間で、「天文館って、想像していたよりも、パットしないわね。」と言わせるのではなくて、「天文館のあの地域はよかったね。」と言われるような、話題性のあるスポットをもうけていきたいと思う。

また鹿児島といえば、代表的なものを挙げると、桜島、西郷隆盛、温泉、黒豚が有名であり、また島津家の発明した歴史的遺産もあるが、黒田清輝、藤島武二、和田英作をはじめとする画家と西郷輝彦、長淵剛、吉田拓郎をはじめとする歌手を輩出した土地柄でもある点に着目し、文化面においても、観光客にアピールできないかと考え、心に残る名曲をイメージ化して絵画として残し、観光客に見てもらおうというものである。

その絵画は誰が描くのかというと、鹿児島県在住の方ならどなたでも応募でき、また個人、団体を問わないようにしたい。また、描写の方法は、水彩画、油絵等、絵としてはっきり認識できるものであれば良いと思う。できたら、コンクール形式をとり、優秀な作品をなるべく多く残していけるようにしていきたい。そして、その絵を基にして、次の方法で展示・保存していきたいと思っている。

あくまでもたとえばではあるが、下記のような絵を天文館の通りの両側にガラス、または強化プラスチック等で包み、展示して並べ、夜もライトアップして、観光客の目を引くような、また地元の人たちも自分たちの絵画が採用展示されれば、友人、知人、親戚の人たちといっしょにいつでも自分たちの絵に出会えるようなロードそして街づくりにしたいと思っている。

